

特別交付税の減額率

寒冷地手当分は現状維持



2000人が集まった08春季生活闘争勝利総決起集会＝3月12日、札幌厚生年金会館

地公部会 総務省と交渉

3月10日、公務員連絡会地公部会は地域手当・寒冷地手当に係る特別交付税の減額率に関して総務省給与能率推進室長交渉を実施し説明を求めた。寒冷地手当等に係る特別交付税の減額率については、「現状維持の方向」と回答した。

公務員連絡会地公部会が、特別交付税の取扱いに関する検討状況について説明を求めたのに対して、総務省は「地域手当に係る特別交付税の減額率については、国支給基準を上回る全額を減額するという考えに変わりがない」と回答した。一方、本年度の減額については、「地域手当は、国支給基準の超過額の0・3を減額率とした」「寒冷地手当は昨年度と同じ0・1とし、来年度以降は引き続き検討したい」と回答した。人件費に係る特別交付税の減額は国の財政制約そのものであり、分権・自治に反した総務省の姿勢は到底認められない。しかし、地域手当の国支給超過額の減額率を0・3に抑制し、寒冷地手当の減額率を昨年度と同じ0・1にとどめたことは、地方公務員給与をめぐる厳しい情勢の中における、自治労、地公部会の取組みの到達点と受け止める。

STOP! THE 格差社会

3月12日、「STOP! THE 格差社会」をスロガンに連合北海道が08春季生活闘争勝利総決起集会を札幌市・厚生年金会館で開き2000人が結集した。(左上写真) 高柳連合北海道会長は「2月末の政府の労働力調査で、非正規雇用が1700万人全体の33・5%に膨れ上がっている。年収200万未満が77%にのぼった。木の城たいせつの倒産では600人の解雇者が出ている。公共事業の削減で道内の雇用は悪化の一途をたどっている」として、国政・道政の枠組みを変える取組と、身近なところの非正規労働者の組織化を強く訴えた。このあと、各構成産別の代表者が決意表明した。地公三者共闘会議の折し集会を終えた。

私の視点

続・観察「公務員バッシング」

特別執行委員 佐藤 富夫(北海道労福協専任理事)



いま、公務員バッシングは、世論を形成している。厳しく捉える必要がある。かつて自治労は、地方自治を住民の手に取り戻すため、「自治体労働者は、住民との共同作業者である」と位置づけた。現代的に言えば住民自治と団体自治が組み合わされた地方分権の確立ということであろう。自治体労働者は、自分の地域でその地域住民と、どんな距離間に置かれていられるかを考えなければならぬ。今日のように厳しい経済環境下におかれた国民の目には、中央省庁の高級官僚も、道庁や市役所、役場に働く地方自治体の職員も、案外、「安定した地位と高い給料」をもらっている、あまり差のない存在と映し出されているのではないかと。そして、最近何かと起きている地方自治体や地方公務員による不祥事が、地域住民との距離間をより遠ざける要因となっている。マスコミの影響が大きい「問題なのはごく一部の者であり、公務員の多くは、真面目に頑張っている」という寛容的姿勢は世間から示されていない。地方自治体にとっての商品とは、自治体職員という人材と自治体行政というサービスである。住民の皆さんから税金と信頼という代金をいただいている。よりよい行政サービスという商品を提供していき、使命を自治労組合員として心に刻み、奮闘してほしい。



全日本自治団体労働組合 北海道本部
〒060-0806 札幌市北区北6西7北海道自治労会館
電話 011-747-3211
FAX 011-700-2053
編集・発行 谷川 広美

睡眠不足もメタボリック症候群に關係するという。やはりそれも生活習慣だから「寝る子は育つ」って、大人にも睡眠中の成長ホルモンは重要で、不足すると肥満などを引き起こすらしい。早寝早起きは「健康の徳」かもしれない。

東京都が1000億円を出資して設立した、経営難の新銀行東京に400億円追加出資は今回だけで済むとは思えない。1569億円かけて建てた都庁舎がもう一棟建つ巨額な税金使った良いのか？そろそろ石原知事にNO!では!?



全道庁 「不適任」162人！過去最多

全道庁(出村良平委員長)は、明るく活気あふれる健康な職場と道庁をめざすことを目的に昨年12月、「第8回管理職評価アンケート」を実施し、集計が終了した。アンケートには、関連労、札幌医科大学をのぞく1万496人の組合員が参加した。道全体の管理職評価の信任率は69・1%、不信任率7・8%でいざいざも昨年より上がった。また、不適任管理職は、昨年の122人を40人上回る162人で過去最多となった。「不適任」は、不信任率50%以上の管理職29人と、意見欄から判断した不適任管理職133人を合計した162人。集計は全道庁本部で実施、結果は「自治労北海道・全道庁労連版」で所属などの詳細が公開されている。意見欄には、「行動力、指導力がない」「相談したくても解決にならない」「あいさつしない」「PCゲームと人事が仕事？」など多数ある。この結果について全道庁は2月13日、風田副知事をはじめ、本庁・各部署に、不適切な管理職に対し適正な指導を強く申し入れた。

JICHIRO スケジュール

2008年3月
21日(金) 第3次全国統一行動日
25日(火) 道本部第13回執行委員会(札幌市)
2008年4月
4日(金) 狭山事件の再審を求める札幌のつどい(札幌市)
8日(火) 道本部第14回執行委員会(札幌市)
13日(日) 社会福祉協議会学習会(札幌市)
18日(金) 第4回組織強化委員会(札幌市)
22日(火) 道本部第15回執行委員会(札幌市)
自治労年金集会(東京都)

民主党の研究・拡大セミナー

■3月29日(土) 13時～15時

■自治労会館 3F中ホール

■講演「世論調査から見た民主党の政権構想のあり方」

■講師：山口二郎 北海道大学院教授

■主催：自治労道本部・総合研究室

読んでみたい BOOK



「その働き方がおかしくないですか?」
「だからワーク・ライフ・バランス」
2007 No.48
ワーク・ライフ・バランスの原点
ワーク・ライフ・バランスの原点とは、仕事と生活の調和、結婚前は自分で作るものなのかなど、本書が、具体的なことほとんどなかったが、今は何でも夫と2人で協力して、家事が楽しいと思えるようになってきた。また、気配りも大事。また、女性組合員だけでなく、男性組合員にも、ぜひ読んでほしい1冊である。
道本支部女性部副部長 結城みどり

『女性としごと』No.48

その働き方がおかしくないですか? だからワーク・ライフ・バランス (発行・労働大学出版センター 500円)

本語にすれば「仕事と生活の調和」となるが、具体的なことはほとんどなかったが、今は何でも夫と2人で協力して、家事が楽しいと思えるようになってきた。また、気配りも大事。また、女性組合員だけでなく、男性組合員にも、ぜひ読んでほしい1冊である。

3.8国際女性デー

めざそう! 「みんなで7時に夕食」



国際女性デーには200人が参加した=3月8日、自治労会館

3月8日、連合北海道が主催する3・8国際女性デー全国統一行動北海道集會が開かれた。
集會では、瀬地山角さん(東京大学准教授)が「笑って考える少子高齢化」について講演した。瀬地山さんは、少子化を林業にたとえ「女性を雇わないことは、植林をしないようなもの、伐採す

るだけでは環境に影響が出てくるのと同じように、ふつうに働きながら子どもを育てられないと社会が存在しなくなる」と述べ自身の子育ての経験をまじえながら「忌引きと夫の産休を同程度にすべき」近い将来、労働力が足りなくなる社会がやってくる、そこを乗り越えるには、みんなで働くこと、大事なのは、働く上で大事な事は、自分以外の人の立場を考慮していかなければならない、その意味ではワーク・ライフ・バランスは既婚者も、独身者もすべての働く人に必要だと話し、運動の前進を確認する集會ラピールを全会一致で採択し集會を終えた。

国際女性デーって?

150年前の1857年3月8日、ニューヨークの被服工場働く女性たちが低賃金・長時間労働に抗議を行ったことが国際女性デーの起源と言われている。
1908年3月8日、女性たちが賃金改善・労働時間の短縮・参政権を求め「パンとバラ」を掲げてデモを行い、3月8



実現しよう! 本音のワーク・ライフ・バランス

社会格差の拡大と働き方の二極化が進んでいる。職場ではメンタルヘルスを含めた健康障害が深刻化し、一方でワーク・ライフ・ブアや格差の固定化などの問題が生じて急速な少子化の要因ともなっている。
こうした状況を打開するため、ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)社会を実現することが、国や地方、産業、企業、そして労働組合の課題となっている。

おーさかさんの国会だより



書害患者さんの情報をめぐるトラブルや、自衛隊艦船の航伯日誌の破棄など、国の文書管理をめぐって数多くの問題が発生しています。公文書管理と公開のしくみづくりにまい進
書害患者さんの情報をめぐるトラブルや、自衛隊艦船の航伯日誌の破棄など、国の文書管理をめぐって数多くの問題が発生しています。公文書管理と公開のしくみづくりにまい進
書害患者さんの情報をめぐるトラブルや、自衛隊艦船の航伯日誌の破棄など、国の文書管理をめぐって数多くの問題が発生しています。公文書管理と公開のしくみづくりにまい進



長時間労働が恒常化している背景には、行き過ぎた規制緩和による過度な競争激化と、それに呼応して際限なく下方にシフトしている労働条件の切り下げがある。
いま、国や企業をはじめ、各方面でワーク・ライフ・バランスが推進されているが、現状の働き方を前提とした女性の両立支援策では、結果的に性別役割分業を固定化する危険性がある。さらに、ワーク・ライフ・バランスの名の下に、労働組合の課題となっている。
私たちがめざす社会
・デイセントワーク(働きがいのある人間らしい仕事)が保障される。
・性別や家族の責任の有無、正規・非正規問わず、すべての働く人々にワーク・ライフ・バランスが等しく保障される。
・生活やライフサイクルに合わせ、働く人自身が多様な働き方を選択できる。
・子育てや介護などを社会全体で支える制度が整備・拡充されている。
・個人生活を尊重する企業文化や働き方に中立な社会システム。
・企業の社会的責任の観点からもワーク・ライフ・バランスが積極的に推進されることで、多様な人材の確保や定着につながり、労使双方に取ってメリットのある働き方が実現している社会。

余話中忙

3・8国際女性デー集會に参加した。会場にいたが、一瞬「場違いの」とも感じた。会場には、男性に囲まれている状態もあり、女性参加者も「針のむしる状態」なのかもしれない。その中で、女性自身が「発言する姿を見ると、やはり女性ばかりが目立つ」とも感じた。会場には、男性に囲まれている状態もあり、女性参加者も「針のむしる状態」なのかもしれない。その中で、女性自身が「発言する姿を見ると、やはり女性ばかりが目立つ」とも感じた。



コンサドールプレゼント
各試合共通(見たい試合を自分で選べます) S A Z I N自由席。締め切りは4月7日(月)午後4時、電話で受付。(011-747-3211) 単組名、名前、連絡先を申告。落選した人には連絡しない。